熊本県救護施設協議会

# 熊救協

2005年６月号

## 【ご挨拶】

野坂の浦荘　副施設長　永山　恵一

初夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃からご指導ご鞭撻をいただき感謝申し上げます。

当施設に勤務致しまして、早いもので５年を経過致しましたが、昨年１１月を以って副施設長が退職致しまして、その後を引き継ぐことになりました。今まで以上に皆様方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、近年の社会福祉制度を取り巻く環境は、平成１２年度の介護保険制度導入、平成１５年度は障害者施設に対する支援費制度のスタート等大きく様変わりしつつあります。生活保護制度についても７０歳以上の高齢者に対する加算の廃止､保護基準の見直し等検討されております。このような中で、介護保険施設では施設運営財源の確保、経費の節減、そしてサービスの質の向上に鋭意努力されております。当施設としても措置施設ではありますがこれらの施設に遅れをとらないように厳しく受け止め、事務、事業の現状を今一度見直す時期にきているのではないかと思います。当施設の当面の課題として措置費の弾力運用の条件を満たすための整備を行うことです。まず、第１に社会福祉法人経理規程準則運用の会計処理から社会福祉法人会計基準による処理に移行すること、第２に苦情解決委員会の組織の活性化を図ること、第３に福祉サービスの第三者評価受審のための整備を図ること、第４に、これ等の結果公表手段の整備を行うことを本年度の重点目標と定め努力して参りたいと思います｡これを実現することにより､職員の質の向上、引いては利用者サービスの質の向上に繋がるのではないかと思います。

微力ではございますが、今後ともよろしくお願い致します。

## 【平成１７年度組織】

### 〈県内救護施設一覧〉

| 施設名 | 施設長名 | 所在地 | 定員 | 開設年月日 | 電話番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 千草寮 | 大堀伸治 | 八代郡千丁町太牟田2618 | 50 | S36．7．6 | 0965-46-0032 |
| 銀杏寮 | 土井口秀幸 | 熊本市春日5-17-36 | 60 | S35.12．1 | 096-352-6602 |
| しらがね寮 | 小林望 | 球磨郡あさぎり町上西835-2 | 50 | S43．4．1 | 0966-45-6668 |
| 天草園 | 三宅栄一郎 | 天草郡河浦町宮野河内3662-2 | 70 | S43.12.10 | 0969-78-0053 |
| 菊池園 | 林田瑛 | 菊池市泗水町吉富今寺17-1 | 50 | S47.10.11 | 0968-38-2956 |
| 野坂の浦荘 | 澤田陽子 | 葦北郡芦北町大字田浦町358-2 | 50 | S55．5．1 | 0966-87-2277 |

### 〈役員名簿〉

| 役職名 | 職名 | 氏名 | 施設名 |
|---|---|---|---|
| 会長 | 施設長 | 林田瑛 | 菊池園 |
| 副会長 | 施設長 | 土井口秀幸 | 銀杏寮 |
| 監事 | 副施設長 | 永山恵一 | 野坂の浦荘 |

### 〈各種委員会〉

（研修委員会）

| 役員名 | 職名 | 氏名 | 施設名 |
|---|---|---|---|
| 委員長 | 施設長 | 小林望 | しらがね寮 |
| 副委員長 | 生活支援員 | 蒔本健作 | 天草園 |
| 委員 | 介護スタッフ | 齋藤あかね | 銀杏寮 |
| 〃 | 主任介護支援員 | 上田公子 | 菊池園 |
| 〃 | 介護職員 | 宮岡聖子 | 千草寮 |
| 〃 | 介護支援員 | 中村純代 | 野坂の浦荘 |

（調査・研究委員会）

| 役員名 | 職名 | 氏名 | 施設名 |
|---|---|---|---|
| 委員長 | 副施設長 | 三宅浩徳 | 天草園 |
| 副委員長 | 副施設長 | 坂井雅子 | 菊池園 |
| 委員 | 副主任 | 福井祥子 | 銀杏寮 |
| 〃 | 介護職員 | 岡村明子 | 千草寮 |
| 〃 | 生活指導員 | 豊永誠子 | しらがね寮 |
| 〃 | 介護支援員 | 横尾ひとみ | 野坂の浦荘 |

（事業検討委員会）

| 役員名 | 職名 | 氏名 | 施設名 |
|---|---|---|---|
| 委員長 | 施設長 | 大堀伸治 | 千草寮 |
| 副委員長 | 生活支援員 | 松中直人 | 天草園 |
| 委員 | 指導員 | 平塚文博 | 野坂の浦荘 |
| 〃 | 生活支援員 | 冨田竜二 | 菊池園 |
| 〃 | 生活指導員 | 溝口美和子 | しらがね寮 |
| 〃 | 主任 | 松尾歩 | 銀杏寮 |

## 【調査・研究委員会】

**（16年度事業報告）**

16年度は、４回委員会を開催し、前ページ掲載の「利用者処遇マニュアル」「緊急時対応マニュアル」「所在不明者対応マニュアル」の策定を行い、又熊救協情報誌第４，５号を発行した。

**（17年度事業計画）**

17年度は、熊救協情報誌第６，７号の発行及び「自立支援」「多重債務マニュアル」について調査・研究を行う。

委員会は５月、９月、11月に千丁町役場にて、２月銀杏寮にて年４回の委員会を予定している。

## 【トピックス】

《障害者特別給付金》平成１７年４月１日より受付開始

国民年金の任意加入期間に加入しなかったことにより障害基礎年金等を受給していない障害者の方について、国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情に鑑み、福祉的措置として「特別障害者給付金制度」が創設されました。

４月１日からの１ヶ月間で４、４９８件の受付があったそうですが給付金の対象者は当時の学生や主婦等約２４，０００人と推計されています。

・支給の対象となる方

①平成３年３月以前に国民年金任意加入対象であった学生

②昭和６１年３月以前に国民年金任意加入対象であった被用者（厚生年金、共済組合等の加入者）の配偶者

であって、当時、任意加入しなかった期間内に初診日(障害の原因となる傷病について初めて医師又は歯科医師の診療を受けた日)があり、障害基礎年金１級、２級相当の障害に該当する方

ただし､６５歳に達する日の前日までに当該障害状態に該当された方に限られます。なお、障害基礎年金や障害厚生年金、障害共済年金などを受給することができる方は対象になりません。また、給付金を受けるためには、社会保険庁長官の認定が必要になります。対象となる方は､住所のある市区町村役場の窓口で請求手続きを行う必要があります。詳細は最寄りの社会保険事務所・事務局へお問い合わせ下さい。

## 【熊救協2005,no.6】

「介護する」と「お世話する」という言葉、どう違うと思いますか。「介護」とは本来、お年寄りの身体的な能力や精神的な能力、病気をしっかり理解した上で行うことで、本人ができることはしっかりやってもらい、できないところをするのが介護です。例えば食事をするとき、どんなに時間がかかっても、あたりを散らかしても自分でできるところまで食べてもらい、そのあと介助するのが介護です。 汚れるからといって全部お世話するとお年寄りは楽ですが、それによって自分ができることができなくなってしまいます。「介護」とは我慢して見守ることも必要です。いろいろご意見をお寄せ下さい。

**編集**：熊本県救護施設協議会　調査・研究委員会　　**事務局**：〒861-1201 熊本県菊池市泗水町吉富今寺17-1　菊池園　Tel（0968）38-2956　Fax（0968）38-6017

**発行**：熊本県救護施設協議会

**【事業検討委員会】**

（平成16年度事業報告）

☆合同交歓会

新たな試みで、熊本県グランドゴルフ協会へ審判ボランティアを依頼。目的とした審判記録等大会運営職員の軽減による参加利用者へのお世話の充実、ボランティア団体との新たな交流やスムーズな進行等により、大会内容の充実が図られ、利用者サービスの向上ができたと思われる。

☆大分・熊本スポーツ交流会

16年度は熊本県の担当により、植木町の荒木観光ホテルで実施。近年、グランドゴルフニーズの高まりにより今大会からグランドゴルフを追加し、大会名も大分・熊本スポーツ交流会へ変更。競技の追加により沢山の参加が可能となり、盛会の中に終了することができた。結果はゲートボールで菊池園Ａ・Ｂチームが１，２位を独占、熊本県チームの活躍が目立った大会だった。

☆ボーリング大会

15年度雪で延期になった反省の元、天候的に心配のいらない11月に昨年と同じ熊本市のﾅﾑｺﾜﾝﾀﾞｰｼﾃｨで、87名の参加により実施。同会場での大会も３回目となり会場の雰囲気にも慣れ、ボーリングを本当に楽しんで頂けたと思われる。

☆事業検討委員会

計画通り年４回実施。利用者の高齢化・重度化、国の厳しい財政状況を踏まえ、17年度以降の事業については、他の委員会と歩調を図りながら縮小する方向で検討を重ねる。

（平成17年度事業計画）

利用者の高齢化・重度化、国の厳しい財政状況等により、17年度は大きく計画を変更〈縮小）する。16年度３回より基本的に年１回とし、大分・熊本スポーツ交流会については、大分県担当の場合は各施設自由参加とし、熊本担当の場合は年１回の合同交歓会として取り組む。現状では、17年度合同交歓会、18年度大分・熊本スポーツ交流会、19年度ボーリング大会からとなっているが、開催結果の反省や色々な情勢を踏まえながら年度ごとに見直しを図り、利用者サービスの向上に努める。

☆合同交歓会

４月、パークドームにて昨年同様の内容で実施。

☆事業検討委員会

年２回実施予定。

**【研修委員会】**

（16年度事業報告）

☆職員研修会開催

| | | |
|---|---|---|
| 第１回 | Ｈ16.6.10 | 生活保護の動向、施設職員としての基本姿勢 |
| 第２回 | Ｈ16.8.24 | 施設見学（老人保健施設フォレスト熊本、こころの医療センター） |
| 第３回 | Ｈ16.10.25 | 危機管理マニュアルについて、グループ討議 |
| 第４回 | Ｈ17.2.24 | 施設見学（身障療護施設くまむた荘、老人保健施設清雅苑） |

☆研修委員会

年4回実施した。

（17年度事業計画）

社会福祉基礎構造改革に伴う利用者の権利擁護、情報公開、サービス評価基準、苦情解決制度等福祉新時代に対応していくためには、職員の意識改革ならびに職員資質の向上が不可欠である。平成17年度の職員研修においても前年度同様、利用者サービスの質の向上に重点を置き、利用者支援研修を主体的に実施することで、専門職としての資質向上を図る。

☆職員研修会

第1回6月千丁町役場にて「生活保護の動向、サービス評価基準、苦情解決制度」

第2回11月上旬熊本県民交流館パレアにて「食生活について」

従来、年4回の開催で、しかも１回当たり各施設４名の参加をお願いしてきたが施設の業務に支障をきたしているように思われる。又、全救協の大会、九救協職員研究大会、九救協職員研修会など研修会の機会があるため、17年度は年2回の計画となった。

☆研修委員会

４月22日（千草寮）、９月下旬（しらがね寮）、１月下旬（銀杏寮）予定